



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和7年12月24日
第10号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

幸せについて

校長 長岡有実子

日進中の学校図書館には、たくさんの興味深い書籍が揃っています。生徒も教職員も、学校図書館で、興味深い本をみつけては、その出会いから新たな発見や、琴線に触れるような体験を感じることもけっして少なくありません。私も度々訪れて、本を借りています。

先日、学校図書館に入ってすぐの棚に、「幸せについて」というタイトルの本が展示されていました。著者は谷川俊太郎さん。谷川さんは、日本を代表する詩人で、今年度の合唱コンクールで3年4組が歌った「信じる」の作詞者でもあり、3年生の国語の教科書にも「春に」という詩が載っています（「春に」も合唱曲として大変有名）。本は、全編100ページ程で、平易な表現と、ストレートな谷川さんの想いが読みやすいのですが、その中で、谷川さんの自筆で書かれている扉がありました。本では、その後に谷川さんの想いが書かれていますが、大きな戦争を乗り越えた谷川さんの人生観と、それを知らない我々の世代とでは感じるものは当然違います。この扉を読んで、何を思うか一人ひとり一度、自分の心に問うてみてください。

「幸せを忘れている幸せ」

「りんご1個・・・見ているだけで幸せ」

「水はひとしづくでも幸せ」

「幸せなんてコトバほんとは要らない」

「ひとりの幸せ ひとりじゃない幸せ」

「大きな幸せより深い幸せ！」

「幸せは時に行儀が悪い」



読む人によっても、読む時によっても解釈は異なりますが、長い2学期の終わりに立ち止まって考えてみた時に、「小さな幸せ」や「ささやかな幸せ」は誰にでもあった今学期だったと思います。学校生活や、学校行事、学習や部活動、委員会活動等を通して、皆それぞれのスピードで成長することができました。時には辛いことがあったり、逃げたくなることがあったりしても、歩み続けることができました。いつも「幸せについて」を考える暇もない日常ですが、年末年始を迎えるにあたり、当たり前の日々を送っていることも含め、感謝し、新しい年を迎えるものです。

新たな年のスタートである3学期は、今年度のまとめの学期でもあります。冬休みを楽しく、健康で過ごし、また始業式には元気で会えるのを楽しみにしています。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校